

私大協発第15061号
平成28年 7月15日

各大学 理事長 殿
学 長
経理部（課）長

日本私立大学協会
会 長 大 沼 淳
大学経理財務研究委員会
委員長 佐 川 秀 夫

(印影印刷)

**平成28年度（通算第53回）「大学経理部課長相当者研修会」開催の
ご案内および適任者のご派遣方お願いについて**

盛夏の候、貴大学ますますご隆昌の趣、慶賀の至りに存じ上げます。

さて、本協会は、私立大学の経営管理における会計・経理業務ならびに財務の重要性にかんがみ、「大学経理財務研究委員会」を常設して、学校法人会計制度ならびに学校法人経理の在り方・改善方策や、私立大学の財政安定化および財務の充実策等について、調査・研究を行うとともに、毎年度「大学経理部課長相当者研修会」を開催して参りましたことは、すでにご高承のことと存じます。

本年度の「大学経理部課長相当者研修会」につきましては、本協会平成28年度事業計画に基づき、大学経理財務研究委員会において準備を進めて参りました結果、来る10月5日（水）から7日（金）までの3日間にわたり、神戸市の「神戸ポートピアホテル」会議室において、同封の「開催要項」のとおり開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。

今回は、①学校法人・関係法令等と学校法人会計基準、学校法人を巡る税制・税務実務、私立大学等経常費補助金一般補助の基礎的事項等の理解を目的とした講習形式による「基本研修」と、②少子化時代における私立大学の財務担当者の役割や、私学経営における課題と改革の方向性をテーマとした講演による「総合研修」、③私大財政運営等の具体的な共通課題についての「設定課題別研修」の三部構成で研修を行うことといたしました。

つきましては、貴大学におかれましては、何卒、本研修会開催の趣旨をご斟酌賜り、適任者をご派遣くださいますようお願い申し上げます。

参加申し込み等（参加・欠席・資料希望を含む）につきましては、本協会ホームページ (<http://www.shidaikyo.or.jp/>) の「加盟大学専用サイト」より、研修会参加費のお振込み終了後、来る8月24日（水）までにお申し込みくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

平成28年度(通算第53回)大学経理部課長相当者研修会 開催要項

主催 一般財団法人 私学研修福祉会
協力 日本私立大学協会

1. 開催の趣旨

この研修会は、私立大学の経営管理における会計・経理・財務の重要性にかんがみ、それらに関する諸問題について共同研修を行い、その一層の充実と適正化を図るとともに、経理・財務部(課)長および相当者の資質向上に資することを目的としています。

2. 参加対象

- (1) 対象者 ① 各大学(法人)の経理・財務・施設等の部課長および相当する職にある者
② 各大学(法人)の財務担当理事・理事・事務局長
(ご参考) この研修会では、加盟各大学における多様な学内事情等を考慮して、「部課長研修」と限定せずに「部課長相当者研修」としています。
相当する職にある者とは、部課長職(相当職)名にこだわらず、派遣される大学において、一定レベルの経理・財務知識をもった担当者、あるいは一定レベルの経理・財務知識を必要とする担当者と判断する場合、また、現在は部長・課長等の職ではないが早急に管理職レベルの経理・財務知識を必要とする人と判断する場合等を対象としています。

(2) 参加者数 1大学3名以内。ただし、当研修会の準備運営委員は別とします。

3. 開催日時

自 平成28年10月5日(水) 13時開会
至 平成28年10月7日(金) 15時閉会

Aコース	【基本研修】から【総合研修】の終了まで 平成28年10月5日(水)12時受付開始・13時開会～6日(木)17時終了	【2日間】
Bコース	【総合研修】から【設定課題別研修】の終了まで 平成28年10月6日(木)12時受付開始・13時開会～7日(金)15時閉会	【2日間】
Cコース	【基本研修】から【設定課題別研修】の終了まで 平成28年10月5日(水)12時受付開始・13時開会～7日(金)15時閉会	【3日間】

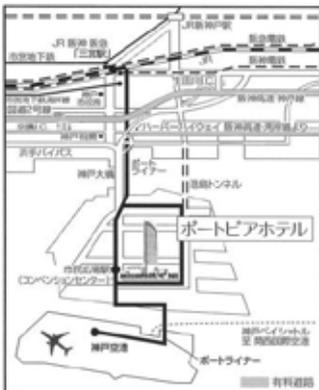
(注:情報交換会は6日「総合研修」後に開催。参加対象:参加申込みされた方。)

Aコース 【2日間】		Bコース 【2日間】		Cコース 【3日間】		
5日(水)	6日(木)	6日(木)	7日(金)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
	基本研修		設定課題別		基本研修	設定課題別
基本研修	総合研修	総合研修	設定課題別	基本研修	総合研修	設定課題別

(注:上段は午前の研修、下段は午後の研修)

4. 研修会場

(会 場) 神戸ポートピアホテル「会議室」
(所在地) 〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10番地1
(電 話) 078-302-1111 (FAX) 078-302-6877
(URL) <http://www.portopia.co.jp>
(交 通)



◆ 公共の交通機関をご利用のお客さまへ ◆

- 「各線三宮駅」よりポートライナーで約10分、市民広場駅(コンベンションセンター)下車すぐ
- 「新幹線神戸駅」より車で約20分、「三宮駅」より車で約10分
- 「神戸空港」より車で約8分、ポートライナーで8分
- 「新幹線神戸駅」・「三宮駅」とホテルを結ぶシャトルバスを運行(20分に1本 無料)
- 関西国際空港より、リムジンバスで三宮まで約70分
関西国際空港より神戸ベイシャトルで神戸空港まで約29分
大阪国際空港(伊丹)より、リムジンバスで三宮まで約60分
三宮からはホテルのシャトルバスがご利用いただけます(無料)

シャトルバス時刻表

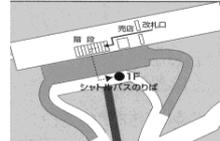
20分間隔で運行 ホテル ↔ 三宮 ↔ 神戸

【ホテル】発:三宮・神戸行き
7:20～21:40(この間、毎時0分・20分・40分発)
22:00 ホテル→三宮

【三宮】発:ホテル行き (所要時間 約15分) 三宮神戸1F乗降のりば
8:00～21:40(この間、毎時0分・20分・40分発)

【神戸】発:ホテル行き(所要時間 約25分)
7:50～21:30(この間、毎時10分・30分・50分発)

シャトルバスのりば(神戸側)



(JR三ノ宮駅(南))



- 交通事情により、発着時間が遅れることがあります
- 定員を越える場合は、乗車をお断りすることがございます
- 周辺事情により、おりが多少変更になる場合がございます

5. 研修日程・課題

6頁以降の「日程（基本研修：13頁～、設定課題別研修：18頁～）」をご参照ください。

6. 「研修会参加費」および「宿泊費・旅費等の諸経費」について

(1) 研修会参加費（1人当たり）について

以下の参加者1人当たりの「研修会参加費」合計金額を、下記の口座宛にお振り込みください。

<内 訳>

	Aコース	Bコース	Cコース
①研修会参加会費	10,000円	10,000円	10,000円
②情報交換会費(10/6)	9,000円	9,000円	9,000円
③その他運営関係費	9,800円	9,600円	11,900円
合計(研修会参加費)	28,800円	28,600円	30,900円

* 研修会参加費には、10月6日(木) A・Cコース参加者の昼食代、10月7日(金) B・Cコース参加者の昼食代が含まれています。

* 情報交換会に出席されない方は、合計金額から情報交換会費を引いてください。

* この他諸経費は、各自でご負担ください。

<振込先>

①銀行口座：三菱東京UFJ銀行「神田支店」普通預金 No.1186469
②名義人：イパツガ イソウジンガ ケンシュウカカイ (ジャイヨウカイチ) 一般財団法人私学研修福祉会(私大協会口)

(お願い)

- ① 参加のお申し込みは、研修会参加費のお振り込み終了後にお願いいたします。
- ② 研修会参加費納入(研修会資料代納入)の際には、「振込日」「振込金額」「振込名義人」等をご入力ください。
- ③ 振込手数料は、各大学にてご負担くださいますようお願いいたします。
- ④ 「領収書」は、お振り込みいただいた各金融機関の指定する「振込金受取書」等をもってかえさせていただきます。

(2) 研修会参加費納入後の欠席の会費の取扱いについて

研修会参加費納入後に欠席の場合、研修会開始7日前<平成28年9月28日(水)>までに本協会事務局宛に電話等にてご連絡いただければ、研修会参加費(振込額)全額を返金いたします。9月29日(木)以降に欠席のお申し出があった場合には、研修会参加費(振込額)を返金できませんので、あらかじめご了承ください。できるだけ、代わりの方をご派遣いただくなどのご調整をお願いいたします。

(3) 宿泊費・旅費等の諸経費について

各自、ご宿泊されるホテル等にお支払いください。

なお、研修会場の「神戸ポートピアホテル」の宿泊室を本研修会参加者優先予約枠として手配しております。

「宿泊の申込方法・宿泊料金の支払方法について」は、神戸ポートピアホテルの別紙「宿泊手配依頼書」をご確認の上、お申し込みください。

【お申し込み・お問い合わせ・変更・取消】

神戸ポートピアホテル 首都圏営業担当まで

(電話) 03-3256-5005 (FAX) 03-3256-5205

【本研修会参加者優先予約 受付期間】

平成28年9月23日(金)まで

部屋数には限りがございますので、早めにお申し込みください。

7. 研修会資料代(欠席の場合のみ該当)について

欠席の場合で、資料の送付を希望される場合は、1セット当たり6,300円(送料含む)を、研修会の参加申し込みと同様に、あらかじめ上記の口座宛にお振り込みください。

研修会終了後、お申し込みいただいた大学宛にお送りいたします。

(お願い)

- ① 欠席の場合の研修会資料申し込みは、研修会資料代のお振り込み終了後をお願いいたします。
- ② 研修会参加費納入（研修会資料代納入）の際には、「振込日」「振込金額」「振込名義人」等をご入力ください。
- ③ 振込手数料は、各大学にてご負担くださいますようお願いいたします。
- ④ 「領収書」は、お振込みいただいた各金融機関の指定する「振込金受取書」等をもってかえさせていただきます。

8. 研修会の申し込み方法について

研修会参加費のお振り込み終了後、本協会ホームページ (<http://shidaikyo.or.jp/>) の「加盟大学専用サイト」より、お申し込みください。

加盟大学専用サイトへ入る“ログイン”の方法は、4頁「ログイン画面」をご確認ください。

また、「欠席の場合」および“欠席で資料送付を希望する場合”も同様に、本協会ホームページ「加盟大学専用サイト」より諸手続きをお願いいたします。

申し込み方法の詳細は、「加盟大学専用サイト」から『大学経理部課長相当者研修会申し込みの手順平成28年度版 [PDF]』をダウンロードの上、ご参照ください。

① 締切期日 平成28年8月24日(水)まで

(注) 準備の都合上、締切期日を過ぎてからの参加申し込みについては、研修会資料集の「参加者名簿」等に掲載されない場合がありますことをあらかじめご了承ください。

② お問い合わせ

日本私立大学協会「大学経理部課長相当者研修会」係 (担当) 第2業務部 大島・三井
(TEL) 03-3261-7049 (メール) keiriken@shidaikyo.or.jp

* (問い合わせ時間) 月曜日～金曜日 9:00～17:00 【原則】

9. 事前アンケートについて

※基本研修3班、設定課題別研修A～E班にお申し込みの方は、5頁「事前アンケートご協力」をお願いをご参照の上、「事前アンケート」をご提出ください。

10. 研修会の報告書作成について

本研修会では、研修成果をさらに広めるため、研修会終了後に研修会報告書（本協会ホームページ「加盟大学専用サイト」にも掲載予定）を刊行しておりますので、ご活用ください。

11. 個人情報の取り扱いについて

本協会は、個人情報を適切な安全対策のもと管理し、漏洩などの防止に努めます。また、法令などに基づき開示する場合を除き、ご本人の同意なく開示・提供はいたしません。

本協会は、当該研修会に参加申し込みをいただいた「個人情報」を本年度の当研修会の運営および今後の研修・研究活動に必要な範囲において利用させていただきます。

○研修会場での服装について

研修会場内の空調管理は行いますが、各自服装で調整できるようご準備ください。

○日本私立大学協会事務局「執務における夏季の軽装化」の実施について

本協会では、平成28年5月2日(月)から平成28年10月31日(月)までの期間、地球温暖化防止および節電対策として、職員の夏季の軽装化を実施しています。

その一環として、研修会等でも「ノーネクタイ、ノー上着」の軽装化を実施いたしますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

ログイン画面

1

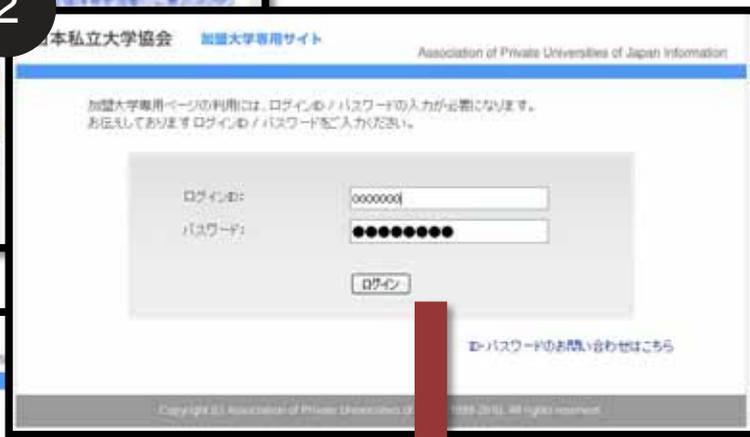


1 日本私立大学協会ホームページから、「加盟大学専用サイト」へログインします。

2

各大学のIDとパスワードを入力してください。
不明な場合は、事務局までメールにてお問い合わせください。
(secretservice@shidaikyo.or.jp)

2



3



3

加盟大学専用サイトのトップページが開きましたら、「各種手続き」にある「研修会・協議会各種申込」をクリックします。

1

～基本研修3班・設定課題別研修A～E班ご参加の皆様へ～
「事前アンケート」ご協力のお願い

基本研修3班・設定課題別研修A～E班ご参加の皆様には、研修を円滑かつ効果的に運営し、成果を高めるため、以下の要領により、回答票ファイル等をダウンロードの上、「事前アンケート」にご協力をお願い申し上げます。

1. 「回答票ファイル」等のダウンロード方法

- ① 本協会ホームページ内「加盟大学専用サイト」にログインしてください。
* ID・パスワードが不明な場合は、secretservice@shidaikyo.or.jp 宛にお問い合わせください。
- ② 各種手続き欄にある「アンケート調査」→「平成28年度（通算第53回）大学経理部課長相当者研修会 事前アンケート」の順にクリックし、該当する班の【事前アンケートご協力のお願い】および【回答票ファイル】をダウンロードしてください。

研修班名称	回答票ファイル名称
基本研修3班	学校の税務に関する「事前アンケート」
設定課題別研修A班	「参加者アンケート」
設定課題別研修B班	『参加者アンケート』
設定課題別研修C班	「事前アンケート」
設定課題別研修D班	財務分析についての「事前アンケート」
設定課題別研修E班	「事前アンケート」

2. 提出方法

- ① 以下の送信先アドレス宛に、ご入力いただいた回答票ファイルを添付の上、ご送信ください。
送信先アドレス：keiriken@shidaikyo.or.jp（担当：三井 渉）
* 送信メールの件名には、必ず『該当する研修班名称「回答票ファイル名称」回答』とご入力ください。（ダウンロードした該当する班の「事前アンケートご協力のお願い」【提出方法】参照）
- ② 回答期限 **平成28年8月24日（水）**
* アンケート回答内容を取りまとめるため、期限にかかわらず、早めにご提出ください。
* 参加申し込み後、アンケート未回答の場合には、1回のみメールにてアンケート提出のお願いを送信します。

※対象：設定課題別研修A班～E班参加者各位 『事前返信資料』の送信について

- 平成28年9月8日頃より、ご回答いただいた「事前アンケート」を取りまとめた『事前返信資料』を事務局から参加者各位へ送信します。

参加者各位は、事前返信資料をご確認の上、情報交換等に備えて、可能な範囲で参考資料等を準備していただき、当日の班別研修にご出席くださいますようお願い申し上げます。

【お問合せ先】

担 当：日本私立大学協会
第2業務部 大島廉士・三井 渉
電 話：03-3261-7049（業務部直通）
メール：keiriken@shidaikyo.or.jp

平成28年度(通算第53回)大学経理部課長相当者研修会 日程(予定) 総括表

会場：神戸ポートピアホテル		日本私立大学協会(大学経理部課長相当者研修会準備運営委員会)	
第1日目：10月5日(木)	第2日目：10月6日(金)	第3日目：10月7日(土)	
<p>9:00</p> <p>準備運営委員会 会場：本館2階「のじぎく」 (10:00～10:45) 全体委員会 (10:45～11:30) 個別打合せ (11:30～) 屋食</p>	<p>(9:00～12:00) -3時間- 途中、小休憩を含む</p> <p>○前日に引き続き班別研修</p> <p>①学校法人会計基準のあらまし1 ②学校法人会計基準のあらまし2 ③学校法人における税務実務の留意点 ④私立大学等経常費補助金一般補助の仕組み</p>	<p>(9:00～12:00) -3時間- 途中、小休憩を含む</p> <p>【設定課題別研修】</p> <p>I. 班別研修 <解説・事例発表等とディスカッションによる研修> [実務対応型課題] A班：学校法人会計基準の現状と決算の留意点 B班：経常費補助金・会計検査院検査関係課題 [政策討議型課題] C班：収入増加方策・支出効率化方策課題 D班：私立大学財政・経営の充実と強化 E班：学校法人の財政運営課題</p>	
<p>12:00</p> <p>◎Aコース・Cコース参加者の受付</p> <p>【基本研修】 (13:00～13:20) -20分- 一、開会 二、挨拶 三、オリエンテーション (13:20～14:10) -50分- I. 学校法人・関係法令等に関する解説 解説者：中川幸広 委員 (14:30～14:30) -20分- 会場移動 (14:30～17:00) -2時間30分- 途中、小休憩を含む</p> <p>II. 班別研修 <スクール形式による解説・演習・事例による研修> ①学校法人会計基準のあらまし1 ②学校法人会計基準のあらまし2 ③学校法人における税務実務の留意点 ④私立大学等経常費補助金一般補助の仕組み</p>	<p>(12:00～13:00) -60分- ◎屋食(Aコース・Cコース参加者)</p> <p>【総合研修】 (13:00～13:20) -20分- 一、開会 二、挨拶 三、オリエンテーション (13:20～14:30) -70分- I. 私立大学を取り巻く諸情勢と今日的課題(仮題) 報告・解説者：日本私立大学協会 小出秀文 常務理事・事務局長 (14:30～14:45) 休憩 -15分- (14:45～15:45) -60分- II. 講演「少子化時代における私立大学の財務担当者の役割」(仮題) 講師：日本私立大学協会 附置私学高等教育研究所 主幹 西井泰彦 氏 (15:45～16:00) 小休憩 -15分- (16:00～17:00) -60分- III. 講演「私学経営における課題と改革の方向性」(仮題) 講師：学校法人常翔学園 理事長 久禮哲郎 氏</p>	<p>(12:00～13:00) -60分- ◎屋食 (13:00～15:00) -2時間- 途中、小休憩を含む ○午前に引き続き班別研修 A班～E班 *研修会に関するアンケートの記入・提出 *各班別でまとめ、各会場にて解散</p>	
<p>17:00</p> <p>第1日目研修終了(夕食は各自自由)</p>	<p>(17:00～17:30) -30分- 会場移動・休憩 (17:30～19:30) -2時間- ◎情報交換会(立食形式、Aコース参加者「基本研修」とB・Cコース参加者「設定課題別研修」ごとのテーブルを用意しています。) 挨拶：森田嘉一 副会長、関西支部支部長</p> <p>第2日目研修終了</p>	<p>(15:15～15:30) -15分- ◎閉会(各班別会場にて解散) 研修会終了</p> <p>運営委員会</p>	<p>各コースの研修終了時のお祝い アンケートのご提出・名札のご返却にご協力ください。 1. 【基本研修】、【総合研修】、【設定課題別研修】それぞれ研修終了後に、「アンケート」をご提出ください。 2. 各コースの研修終了後、研修会場を退出する際には「名札」をご返却ください。</p>
<p>20:00</p>	<p>Aコース：基本研修・総合研修(1泊2日研修)</p>	<p>(12:00～13:00) -60分- ◎Bコース参加者の受付</p>	<p>Bコース：総合研修・設定課題別研修(1泊2日研修)</p>
	<p>Cコース：基本研修・総合研修・設定課題別研修(2泊3日研修)</p>		<p>Cコース：基本研修・総合研修・設定課題別研修(2泊3日研修)</p>

平成28年度（通算第53回）大学経理部課長相当者研修会 日程（予定）

準備運営委員会

10月5日（水）
10：00～10：45
会場：神戸ポートピアホテル
本館2階「のじぎく」

主催：一般財団法人私学研修福祉会
協力：日本私立大学協会
期間：平成28年10月5日（水）～7日（金）
会場：**神戸ポートピアホテル**
（所在地）神戸市中央区港島中町6丁目10番地1
（TEL）078-302-1111（代表）
（FAX）078-302-6877
（URL）http://www.portopia.co.jp

Aコース [2日間]		Bコース [2日間]		Cコース [3日間]		
5日(水)	6日(木)	6日(木)	7日(金)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
	基本研修		設定課題別		基本研修	設定課題別
基本研修	総合研修	総合研修	設定課題別	基本研修	総合研修	設定課題別

（注：情報交換会は6日「総合研修」後に開催。参加対象：参加申込みされた方。）

第1日目 10月5日（水）

<運営委員控室：本館2階「のじぎく」（10:00～13:00）>

12:00	◎Aコース・Cコース参加者の受付 名札・資料を配付します。	<場所：本館B1階「偕楽」入口前ロビー>
13:00	【基本研修】	<会場：本館B1階「偕楽」>
	<p>私立大学が、教育・研究の充実および特色化と財政の持続的安定を図るためには、財政基盤の確立と適正な経理処理は欠かせない課題です。</p> <p>基本研修では、学校法人を取り巻く関係法令等に関する解説をはじめ、学校法人会計基準による適正な会計処理や学校法人を巡る税制・税務実務の留意点および主要な収入源泉である経常費補助金一般補助についての研修を行います。</p> <p>基本研修は、初任の部長・課長等、あるいは早急に管理職レベルの経理・財務知識を必要とする人、または一定レベルの経理・財務知識を必要とする担当者等を対象に解説を中心とするプログラムを実施します。</p>	
	一、開会	
	二、挨拶	
	三、オリエンテーション（日程、お願い等）	
13:20 (50分)	I. 学校法人・関係法令等に関する解説	
	<p>日本国憲法はもちろん、教育基本法、学校教育法、私立学校法、私立学校振興助成法など私立学校職員として知っておくべき関係法令は多く、内容も私学経営全般にわたっています。</p> <p>本年度は、当研修会のテーマに則し、私たちの業務に身近な経理財務に関係する法令を中心に解説します。</p>	
	<p>解説者：大学経理財務研究委員会 中川幸広 委員 （純真学園大学 法人事務局法人本部長）</p>	
14:10		

第2日目 10月6日(木)

＜運営委員控室：本館B1階「松竹」(9:00～17:30)＞

<p>9:00 { { 12:00</p>	<p>II. 班別研修 ＜会場：各会議室＞ スクール形式による解説・演習等を前日（第1日目：5日）に引き続き、同じ班編成（班区分、運営委員）、同じ会場で後半の研修プログラムを実施します。</p>	
<p>12:00 { { 13:00</p>	<p>◎昼食（Aコース・Cコース参加者） *各会場で参加者全員にお弁当を準備します。</p>	<p>◎Bコース参加者の受付 名札・資料を配付します。 ＜場所：本館B1階「借楽」入口前ロビー＞</p>
<p>13:00 { { { { { { { { { { 13:20 (70分) { { { { 14:30 小休憩 14:45 (60分) { { { { 15:45 小休憩 16:00 (60分) { { { { 17:00</p>	<p>【総合研修】 ＜会場：本館B1階「借楽」＞ 司会：大江俊司 委員（大手前大学 総合企画部次長） 一、開会 二、挨拶 三、オリエンテーション（日程、お願い等）</p>	
<p>13:20 (70分) { { { { 14:30 小休憩 14:45 (60分) { { { { 15:45 小休憩 16:00 (60分) { { { { 17:00</p>	<p>I. 私立大学を取り巻く諸情勢と今日的課題（仮題） 報告・解説者：日本私立大学協会 常務理事・事務局長 小出秀文</p>	
<p>14:30 小休憩 14:45 (60分) { { { { 15:45 小休憩 16:00 (60分) { { { { 17:00</p>	<p>II. 講演「少子化時代における私立大学の財務担当者の役割」（仮題） 講師：日本私立大学協会 附置私学高等教育研究所 主幹 西井泰彦氏</p>	
<p>15:45 小休憩 16:00 (60分) { { { { 17:00</p>	<p>III. 講演「私学経営における課題と改革の方向性」（仮題） 講師：学校法人常翔学園 理事長 久禮哲郎氏</p>	
<p>17:00 (30分) 17:30</p>	<p>会場移動</p>	

17:30

◎情報交換会（立食形式）

<会場：南館1階「大輪田（A）」>

【お願い】名札をつけて、ご集合ください。

司会：大田 欣久 委員（大阪商業大学 法人本部財務課長）

挨拶 ……………

日本私立大学協会 副会長	
日本私立大学協会関西支部 支部長	森田 嘉一 氏
京都外国語大学 理事長・総長	

来賓紹介 …………… 総合研修（全体研修）の講演・講師、設定課題別研修（班別研修）で解説をしていただく講師の方々等にご出席いただきます。

- 会場内は、Aコース参加者「基本研修」とBコース・Cコース参加者「設定課題別研修」ごとのテーブルを設営しています。
出席された班（基本研修）、または出席される班（設定課題別研修）のテーブルにお集まりください。
- 「基本研修」の各テーブルには、解説・演習等をご担当いただいた運営委員が着いています。
研修後のご不明な点等の解決に少しでもお役立てください。
- 「設定課題別研修」の各テーブルには、ご担当いただく運営委員、講師の方々に着いていただきます。
各大学の個別問題の解決や翌日の意見交換を少しでも有効なものにしていただく機会としてください。
- 有効な名刺交換の機会として活用してください。
研修会終了後、各大学へ戻られた後に、日常的な話題等についてはすぐに相互の連絡がとれ情報交換や意見交換ができ、問題解決が図れるような友好関係を築く機会としてください。

19:30

第2日目終了

9:00

【設定課題別研修】

設定課題別研修では、私大財政運営等の具体的な共通課題について、加盟各大学における問題解決の一助とするため、下記の5つの中心テーマ区分により、個別テーマの留意点や関係課題などを掘り下げて研修します。原則として、参加者相互の討議により進行する形式の「班別研修」です。5つの中心テーマ区分を「実務対応型」と「政策討議型」に分類設定しています。

解説・事例発表等とディスカッションによる研修

Bコース・Cコース参加者は、出席する班を1つ選んでください。
諸準備の関係から研修会当日の班の変更には応じられませんので、あらかじめご了承ください。
<会場> 注) 会場については、研修会当日の配付資料によりお知らせします。

	班	設定テーマ	会場
実務対応課題設定	A	学校法人会計基準の現状と決算の留意点	
	B	経常費補助金・会計検査院検査関係課題	
政策討議課題設定	C	収入増加方策・支出効率化方策課題	
	D	私立大学財政・経営の充実と強化	
	E	学校法人の財政運営課題	

<班編成> *詳細は、設定課題別研修の『研修日程予定・研修概要』をご参照ください。

班	設定テーマ (講師・事例発表者)	運営委員
A	学校法人会計基準の現状と決算の留意点 講師：日本公認会計士協会 学校法人委員会関係者	徳田 守 副委員長 (金沢工業大学) 小谷野 理 委員 (大妻女子大学) 齋藤 佳之 委員 (東京電機大学) 加藤 友和 委員 (中部学院大学) 本西 亜弥 委員 (近畿大学)
B	経常費補助金・会計検査院検査関係課題 講師：日本私立学校振興・共済事業団 助成部 補助金課長 菊池裕明 氏 補助金課長補佐 宮田直樹 氏	佐川 秀夫 委員長 (文化学園大学) 松下 良春 委員 (北海学園大学) 岡畑 満孝 委員 (中部大学) 大江 俊司 委員 (大手前大学)
C	収入増加方策・支出効率化方策課題 発表者：中島和彦 副委員長 発表者：瀬田高央 委員	中島 和彦 副委員長 (多摩美術大学) 小柳 敦 委員 (東北福祉大学) 瀬田 高央 委員 (神奈川大学) 大田 欣久 委員 (大阪商業大学)
D	私立大学財政・経営の充実と強化 講師：日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 経営支援室 主幹 瀬戸浩徳 氏 私学情報室 主幹 高野陽子 氏	近藤伊佐夫 委員 (明星大学) 余語 弘 委員 (名城大学) 川合 直貴 委員 (大阪芸術大学) 中川 幸広 委員 (純真学園大学)
E	学校法人の財政運営課題 発表者：西畑一哉 委員	西畑 一哉 委員 (二松学舎大学) 相原 安夫 委員 (武蔵野音楽大学) 衣松 美隆 委員 (広島経済大学) 山口久吉郎 委員 (徳島文理大学) 木谷 義勝 委員 (熊本学園大学)

途中
小休憩

12:00

12:00

◎昼食

*各会場で参加者全員にお弁当を準備します。

【午後】注)会場については、研修会当日の配付資料によりお知らせします。

班	運営委員	会場
A1		
A2	徳田副委員長、小谷野委員、齋藤委員、	
A3	加藤委員、本西委員	
A4		
B	佐川委員長、松下委員、岡畑委員、 大江委員	
C	中島副委員長、小柳委員、瀬田委員、 大田委員	
D	近藤委員、余語委員、川合委員、中川委員	
E	西畑委員、相原委員、衣松委員、山口委員、 木谷委員	

13:00

I. 班別研修

後半の研修プログラムを実施します。

途中
小休憩

15:00

◎閉会

*班別ごとに運営委員によるまとめの後、研修会についてのアンケートにご協力いただき、各班別会場にて解散となります。

「名札」のご返却、「アンケート用紙」のご提出をお願いします。

研修会終了

運営委員会 15:15~15:30

平成28年度 基本研修 特徴とポイント (総括表)

	<p>1班：学校法人会計基準のあらまし1 簿記の基本や仕訳などの解説と演習および学校法人会計基準の基本的な項目の解説を行うことを目的としています。</p>	<p>2班：学校法人会計基準のあらまし2 平成27年度から改正された学校法人会計基準により、経理処理を行っています。学校法人にとってなぜ予算制度が重要なのか、学校法人会計基準の特色とは、財務三表の見方について解説します。また、本班は特に基本金の意義・制度の趣旨、基本金明細表の作成等の留意点など、基本金の理解(知識を整理したい・深めたい、理論と実務を結びつけたい)に重点を置いた解説を行います。</p>	<p>3班：学校法人における税務実務の留意点 本協会の事業計画「IV. 大学財政基盤の充実と強化」の税制改善の在り方に基づき、税制に関する研修を行います。今年度は設定課題別研修から基本研修に移行させて、経理財務担当者ならびに税務実務を担当されている方に基本的な税制および税務に関する研修を実施します。税制および税務実務は、国税から地方税まで広範囲に及び、複雑かつ難解な点が多いことから、この班は、学校法人の税務全般について理解を深めることを目的とし、特に留意すべき点を講師から解説をいただきます。</p>	<p>4班：私立大学等経常費補助金一般補助の仕組み 私立大学において収入の主要な柱である、経常費補助金一般補助に関する制度と計算の仕組みを正しく理解し、補助金関係事務の適切な執行を図るための解説と補助額算出のための演習を通して経常費補助金の理解を進めます。</p>
<p>対象者</p>	<p>初級レベル 経理・財務経験の極めて浅い方、学校法人会計基準なじみが極めて薄い方。 演習は初歩的な内容とし、解説も学校法人会計基準の基本から説き起こし、学校法人の計算体系および帳簿や計算書の概要を把握してもらおう程度に留めます。</p>	<p>中級レベル 学校法人での決算・予算編成などの業務に携わってまだ経験の浅い方、今後携わる予定のある方。学校法人で立场上、学校法人会計基準の基本的な理解を必要とする方。</p>	<p>初級・中級レベル 学校法人の経理財務担当者、税務実務を担当されている方および責任者の方。</p>	<p>初級・中級レベル 本班は、新任の管理職者や新しく補助金担当となった方などに向けた「経常費補助金の基本的事項にかかわる研修です。」</p>
<p>研修方法</p>	<p>スクール形式 (講習形式) 本研修オンラインプログラムのテキストを使用します。</p>	<p>スクール形式 (講習形式) 解説および質疑応答を行います。</p>	<p>スクール形式 (講習形式) 参加者から提出された「事前アンケート」での質問・ご意見等を参考に、講師による解説を行います。 (お願い) 参加者には、学校の税務に関する「事前アンケート」のご協力をお願いいたします。</p>	<p>スクール形式 (講習形式) 1日目・2日目を通して私学事業団が公表する『私立大学等経常費補助金取扱要領・同配分基準平成28年3月』による補助制度の解説と『平成28年度事務担当者資料の補助金配分基準額計算表4-1～4-4』を演習例題とした実例による一般補助額計算の演習を組合せながら行います。 (お願い) 参加者は、一般補助額計算の演習のため“電卓”をご準備ください。</p>
<p>研修概要【1日目】</p>	<p>1 解説と演習：簿記・仕訳の基礎</p>	<p>1 解説：予算の重要性と学校法人会計基準の特色について 2 解説：財務三表の見方について</p>	<p>1 解説「学校法人における税務実務の留意点」</p>	<p>1 解説と演習：私立大学等経常費補助金一般補助の制度と仕組み ：実例による一般補助金計算 電卓を使用します。</p>
<p>研修概要【2日目】</p>	<p>2 解説：学校法人会計基準の概要 3 解説：計算書類の概観と具体的な取引例</p>	<p>3 解説：基本金の概要について 4 解説：基本金の実務について(事例を中心に) 5 質疑応答・各解説者からの補足説明</p>	<p>1 解説「学校法人における税務実務の留意点」(第1日目に引き続き)</p>	<p>2 解説と演習：私立大学等経常費補助金一般補助の制度と仕組み ：実例による一般補助金計算 電卓を使用します。</p>

平成 28 年度 【 基本 研 修 】 II. 班別研修

1 班	学校法人会計基準のあらまし 1
-----	-----------------

(趣旨・目的) 簿記の基本や仕訳などの解説と演習および学校法人会計基準の基本的な項目の解説を行うことを目的としています。

(対 象 者) **初級レベル**

経理・財務経験の極めて浅い方、学校法人会計基準になじみが極めて薄い方。演習は初歩的な内容とし、解説も学校法人会計基準の基本から説き起こし、学校法人の計算体系および帳簿や計算書の概要を把握してもらう程度に留めます。

(研修方法) スクール形式（講習形式）により、本研修オリジナルのテキストを使用します。

(運営委員) 小 柳 敦 委員（東北福祉大学 財務課長） *解説者
 加 藤 友 和 委員（中部学院大学 学院本部財務部長）
 大 田 欣 久 委員（大阪商業大学 法人本部財務課長）
 本 西 亜 弥 委員（近畿大学 財務部経理課長） *解説者
 大 江 俊 司 委員（大手前大学 総合企画部次長） *司会
 木 谷 義 勝 委員（熊本学園大学 総務部経理課長） *司会・解説者

(研修日程)

10月5日(水)	研修概要：第1日目（午後）
14:30 (5分)	○ 第1日目開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等 司会・進行：木谷義勝 委員（熊本学園大学 総務部経理課長）
14:35 (130分)	1 解説と演習：簿記・仕訳の基礎 解説者：本西亜弥 委員（近畿大学 財務部経理課長） (骨子) 簿記の基礎からはじめ、資金収支取引を中心に、取引事象の仕訳やその諸書類への現れ方や見方の基礎について、解説と演習を行います。 扱う取引などの内容は、極めて初歩的なものとします。
一途中 小休憩一	
16:45 (15分)	○ 質疑応答
17:00	○ 第1日目閉会：翌日の確認等 司会：木谷義勝 委員
10月6日(木)	研修概要：第2日目（午前）
9:00 (5分)	○ 第2日目開会：運営方法説明等 司会・進行：大江俊司 委員
9:05 (60分)	2 解説：学校法人会計基準の概要 解説者：小柳 敦 委員（東北福祉大学 財務課長） (骨子) ①学校法人会計、②学校法人会計基準の特色、③基本金 学校法人会計基準の基本を解説します。
10:05 (10分)	○ 休憩
10:15 (90分)	3 解説：計算書類の概観と具体的な取引例 解説者：木谷義勝 委員（熊本学園大学 総務部経理課長） (骨子) ①計算書類の概要、②具体的な取引例の計算書類への現れ方 について解説します。
11:45 (15分)	○ 質疑応答
12:00	○ 基本研修閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い *「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。
12:00 (60分)	◎ 昼食：お弁当を準備します。
13:00	一休 憩・会場移動一

基本研修終了

2 班	学校法人会計基準のあらまし 2
-----	-----------------

(趣旨・目的) 平成27年度から改正された学校法人会計基準により、経理処理を行っています。学校法人にとってなぜ予算制度が重要なのか、学校法人会計基準の特色とは、財務三表の見方について解説します。また、本班は特に基本金の意義・制度の趣旨、基本金明細表の作成等の留意点など、基本金の理解(知識を整理したい・深めたい、理論と実務を結びつけたい)に重点を置いた解説を行います。

(対象者) **中級レベル** 学校法人での決算・予算編成などの業務に携わってまだ経験の浅い方、今後携わる予定のある方。学校法人で立場上、学校法人会計基準の基本的な理解を必要とする方。

(研修方法) スクール形式(講習形式)での解説および質疑応答を行います。

(運営委員)	徳田 守 副委員長 (金沢工業大学 常任理事・財務部長)	* 司会・解説者
	齋藤 佳之 委員 (東京電機大学 経理部長)	* 司会・解説者
	近藤 伊佐夫 委員 (明星大学 常任理事)	
	瀬田 高央 委員 (神奈川大学 財務部長)	* 解説者
	岡 畑 満 孝 委員 (中部大学 法人本部財務部長)	* 解説者

(研修日程)

10月5日(水)	研修概要：第1日目(午後)
14:30 (5分)	○ 第1日目開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等 司会・進行：齋藤佳之 委員(東京電機大学 経理部長)
14:35 (50分)	1 解説：予算の重要性と学校法人会計基準の特色について 解説者：瀬田高央 委員(神奈川大学 財務部長) ①予算の重要性、②学校法人会計、③学校法人会計基準の特色
15:25 (15分)	○ 休憩
15:40 (70分)	2 解説：財務三表の見方について 解説者：徳田 守 副委員長(金沢工業大学 常任理事・財務部長) ①-1資金収支計算書、①-2活動区分資金収支計算書、②事業活動収支計算書、③貸借対照表
16:50 (10分)	○ 質疑応答・各解説者からの補足説明
17:00	第1日目閉会：翌日の確認等 司会：齋藤佳之 委員(東京電機大学 経理部長)
10月6日(木)	研修概要：第2日目(午前)
9:00 (5分)	○ 第2日目開会：運営方法等 司会・進行：徳田 守 副委員長(金沢工業大学 常任理事・財務部長)
9:05 (70分)	3 解説：基本金の概要について 解説者：齋藤佳之 委員(東京電機大学 経理部長) 学校法人会計の中で最も難解であると言われていた基本金について、制定の理由、第1号～第4号の各基本金の説明、減価償却との関係および基本金の取崩しまで、事例等を使ってわかりやすく解説します。
10:15 (15分)	○ 休憩
10:30 (70分)	4 解説：基本金の実務について(事例を中心に) 解説者：岡畑満孝 委員(中部大学 法人本部財務部長) 第1号基本金から第4号基本金までの基本金組入額を算出し、基本金明細表の作成過程について、事例を解説します。
11:40 (10分)	5 質疑応答・各解説者からの補足説明 司会：徳田 守 副委員長(金沢工業大学 常任理事・財務部長)
11:50 (10分)	○ 基本研修閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い
12:00	* 「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。
12:00 (60分)	◎ 昼食：お弁当を準備します。
13:00	一休 憩・会場移動一

基本研修終了

3 班	学校法人における税務実務の留意点
-----	------------------

(趣旨・目的) 本協会の事業計画「IV. 大学財政基盤の充実と強化」の税制改善の在り方に基づき、税制に関する研修を行います。今年度は設定課題別研修から基本研修に移行させて、経理財務担当者ならびに税務実務を担当されている方に基本的な税制および税務に関する研修を実施します。税制および税務実務は、国税から地方税まで広範囲に及び、複雑かつ難解な点が多いことから、この班は、学校法人の税務全般について理解を深めることを目的とし、特に留意すべき点を中心に講師から解説をいただきます。

(対象者) 初級・中級レベル

(研修方法) 学校法人の経理財務担当者、税務実務を担当されている方および責任者の方。
スクール形式（講習形式）で、参加者から提出された「事前アンケート」でのご質問・ご意見等を参考に、講師による解説を行います。

(お願い) 参加者には、学校の税務に関する「事前アンケート」のご協力をお願いします。

(講師) 公認会計士・税理士 佐々木 正 氏（公認会計士 佐々木正事務所）

【講師紹介】略 歴

学 歴：昭和 48 年 3 月 早稲田大学第一商学部卒業

資 格：公認会計士、税理士

職 歴：昭和 48 年 4 月～ 東京国税局管内税務署勤務

昭和 51 年 3 月～ 中央共同監査法人（現あずさ監査法人）勤務

平成 08 年 9 月～ 公認会計士佐々木正事務所（現）

平成 10 年 4 月～ 双葉監査法人代表社員（現）

業 務：学校法人監査、金融商品取引法監査その他の法定監査、税務等

その他：平成 20 年～平成 23 年 日本公認会計士協会学校法人委員会副委員長

著 書：「わかる つかえる 学校法人の税務実務 ポイントと Q&A」（税務経理協会）

(運営委員) 小谷野 理 委員（大妻女子大学 財務センター財務グループ課長）

西 畑 一 哉 委員（二松学舎大学 常任理事、企画・財務部長）

相 原 安 夫 委員（武蔵野音楽大学 評議員・名誉教授）

川 合 直 貴 委員（大阪芸術大学 法人本部経理部長）

中 川 幸 広 委員（純真学園大学 法人事務局法人本部長）

* 司会

(研修日程)

10月5日(水)	研修概要：第1日目（午後）
14：30 (10分)	○ 第1日目開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等 司会・進行：中川幸広 委員（純真学園大学 法人事務局法人本部長）
14：40	1 解説「学校法人における税務実務の留意点」 講師：公認会計士・税理士 佐々木 正 氏 （公認会計士 佐々木正事務所）
-途中休憩- (10分)	(1) 学校法人の消費税 (2) 学校法人の法人税等(収益事業の税制)
16：55 17：00	○ 第1日目閉会：翌日の確認等 司会：中川幸広 委員
10月6日(木)	研修概要：第2日目（午前）
9：00 (5分)	○ 第2日目開会：運営方法等 司会・進行：中川幸広 委員
9：05	1 解説「学校法人における税務実務の留意点」 （第1日目に引き続き）
-途中休憩- (10分)	(3) 寄付金・譲渡所得等関係税制 (4) 学校法人における源泉所得税 (5) その他の税目の実務ポイント
11：30 (30分)	○ 基本研修閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等 * 「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。
12：00	
12：00 13：00	◎ 昼食：お弁当を準備します。 -休 憩・会場移動-

基本研修終了

平成28年度 設定課題別研修 特徴とポイント（総括表）

【 実務対応型課題 】

	<p>A班：学校法人会計基準の現状と決算の留意点</p>	<p>B班：経常費補助金・会計検査院検査関係課題</p>
<p>趣旨・目的</p>	<p>学校法人会計基準や決算上の留意点について、業務上の留意点を中心に、ご専門の講師から適切なアドバイスを受けることにより、学校法人会計における問題点を解消し理解を深めることを目的としていきます。</p> <p>本年度研修会では、日本公認会計士協会の学校法人委員会から講師をお迎えし、学校法人会計基準の一部改正後初めての決算を振り返るための留意点、および預り金処理の留意点を中心に「学校法人会計の適正な処理と決算の留意点」というテーマでご講演いただきます。</p> <p>また、ディスカッションでは参加者アンケートを基に情報交換を行い、日常業務の疑問点の解消を目指します。</p>	<p>この班は、事業団の方に「会計検査院の実地検査の状況」、「不当事項等まではいかにかかったが、過去において会計検査院検査や事業団の事前調査で問題となった事例を中心に、より現場の話に直結した内容」での解説を行っていただきます。</p> <p>事前にご提出いただく『参加者アンケート』で講師への質問や解説希望事項により、質疑応答およびまた、『参加者アンケート』に寄せられた「参加者間で討議したい事項・内容」や「他大学の取組状況」等についてディスカッションを行うことで補助金等に関する理解を深め、関係事務の適正化を図ることを目的としています。</p>
<p>研修方法</p>	<p>【午前の部】 講師から講演形式により、学校法人会計基準の一部改正、預り金処理を中心に会計基準の諸課題、会計処理及び決算上の留意点について解説を行うとともに、参加者アンケートの中から質問事項の回答を行います。</p> <p>【午後の部】 少人数のグループで、現行の学校法人会計基準内での、決算処理等の会計処理上の諸問題や日常業務の疑問点を中心に、参加者アンケートを基に情報交換を行います。</p>	<p>【午前の部】 グループディスカッション形式の座席配置にて研修を行います。内容は事業団担当者による課題解説の後、『参加者アンケート』による質問事項の解説および事業団の方も交えてのディスカッションを行います。</p> <p>【午後の部】 参加者のみで『参加者アンケート』にて提出された参加者間で討議したい事項を中心に経常費補助・文科者等直接補助・科研費等の日頃の業務に関する意見交換を行います。</p>
<p>対象者</p>	<p>経理業務に精通している部課長並びに、それに準ずる方。 (実務者を対象とします。)</p>	<p>補助金業務の担当者に留まらず広く補助金や検査院検査に関する知識を必要とする方。</p>
<p>班編成</p>	<p>【午前の部】 参加者全員によるスクール形式。 【午後の部】 少人数のグループ編成で、ロの字形式。</p>	
<p>事前お願い</p>	<p>研修会参加申込の際に「参加者アンケート」の作成をお願いします。</p>	<p>参加者には、『参加者アンケート』の協力をお願いします。 なお、講師の方への個別相談・名刺交換等については、研修日程の時間の都合上、午前の部の研修時間内にてお願いします。</p>
<p>研修概要 【午前の部】</p>	<p>1 解説「学校法人会計基準の現状と決算の留意点」 ～学校法人会計基準一部改正および預り金処理の留意点を中心に、最近の会計関係法規、通知及び委員会報告等を解説します。～</p>	<p>1 解説「会計検査院の実地検査状況について」 2 「参加者アンケート」による質問事項に対する解説およびディスカッション</p>
<p>【午後の部】</p>	<p>2 ディスカッション</p>	<p>3 参加者ディスカッション</p>

【 政策討議型課題 】

	<p>C班：収入増加方策・支出効率化方策課題</p> <p>今回は、運営委員による支出効率化方策に関連した事例発表の後、参加者から提出された「事前アンケート」中心のグループによるディスカッションや資料交換を行い、収入増加方策・支出効率化方策課題についての認識と理解を深めて自校で積極的に提言・活用されることを目的とします。</p>	<p>D班：私立大学財政・経営の充実と強化</p> <p>私立大学を取り巻く環境は大きく変化しており、またそれに対する迅速な対応が求められます。私立大学が存続していくためには、今一度建学の精神に基づき教育と研究の充実を図ること、そして将来の計画を具体化し、経営と財政基盤の安定を確実なものにしていくことが重要です。</p> <p>財政を担当するスタッフとして財務分析を活用して財務状況を的確に判断し、自学の状態を提供できる「ものさし」となる財務諸表を使った分析についての理解を深め、少しでも高めることを目的としています。</p> <p>本研修は、日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センターの講師による解説で、財務を支える職員として「財務比率の分析力」を高め、日々業務の中で現状を把握するために活かしていきたいようにすること。経営の安定と財政基盤の充実に向けての取り組みの事例を紹介してもらいます。</p>	<p>E班：学校法人の財政運営課題</p> <p>学校法人を取り巻く環境は大きく変化しており、最近では、長期的な展望の下に、課題解決を迫られる問題が増えています。また、少子化傾向の下で、学校法人の経営が将来不安定化する可能性も出てきているところからです。</p> <p>E班では、長期ビジョンの下での、中長期経営（含む財政）計画の立案と改善手法について検討したいと考えています。また、「実質（時価）ベースでの保有資産価値の試算」等を切り口として、多種多様な諸課題を、それぞれの学校法人でどう取り組み、解決しているのかを研究しようというのがこの班での研修の趣旨です。</p> <p>この班では、参加者の一人一人が質問者であり、講師であるとの考え方は、参加者の「事前アンケート」から抽出された各法人固有のあるいは共通のテーマ、質問事項を中心に運営委員と参加者間相互による情報交換等を行います。</p>
<p>趣旨・目的</p>			
<p>研修方法</p>	<p>「取組事例」発表・質疑応答等による研修（受講形式）、その後、参加者間の「ディスカッション」による研修（ワークショップ形式）を実施します。</p>	<p>【午前の部】 日本私立学校振興・共済事業団の私学経営情報センターから講師を招き、財務分析を含む財務状況の把握に必要な手法および私立大学の経営を取り巻く現状と今後の課題の解説を行っていただきます。</p> <p>【午後の部】 ワークショップ形式での参加者間の「ディスカッション」による研修を実施する予定にしています。</p>	<p>ワークショップ形式による研修スタイルの事例研究研修とディスカッション研修を行います。</p>
<p>対象者</p>	<p>学校運営にかかる収支改善の課題を強く感じている方。 積極的なディスカッション（資料交換を含む）ができる方。</p>	<p>学校法人の運営に關わる方を対象に、積極的に意見交換、情報交換等に参加できる方。</p>	<p>学校法人の運営全般に問題意識をもち、積極的に討議・意見交換・情報交換・資料交換等に参加できる方。</p>
<p>班編成</p>	<p>規模別等のグループを5テーブル編成します。</p>	<p>【午前の部】 スクール形式。 【午後の部】 グループを編成。</p>	<p>【午前の部】 スクール形式。 【午後の部】 グループを編成して行います。</p>
<p>事前お願い</p>	<p>C班参加者の皆様は「事前アンケート」の作成(入力)をお願いいたします。</p>	<p>研修会申込入力の際に、「事前アンケート」の作成をお願いいたします。</p>	<p>参加者には、「事前アンケート」のご協力をお願いします。</p>
<p>研修概要 【午前の部】</p>	<p>1 「たまび流」収入増加・支出削減方策 2 事前アンケートを踏まえた事例等について 3 参加者間の「ディスカッション」による研修 （収入増加方策・支出効率化方策）</p>	<p>1 財務諸表を使った財務分析について 2 私立大学の経営を取り巻く現状と今後の課題について</p>	<p>1 「今後の中長期計画の在り方～中長期計画2.0～」 2 説明についての質疑応答 3 「学校法人経営課題顕微鏡化への対応」</p>
<p>【午後の部】</p>	<p>4 午前に引き続き、参加者間の「ディスカッション」による研修</p>	<p>3 事前アンケートの集計結果報告 4 参加者間の「ディスカッション」による研修</p>	<p>4 参加者ディスカッション</p>

A 班	学校法人会計基準の現状と決算の留意点	実務対応型課題
-----	--------------------	---------

(趣旨・目的) 学校法人会計基準や決算上の留意点について、業務上の留意点を中心に、ご専門の講師から適切なアドバイスを受けることにより、学校法人会計における問題点を解消し理解を深めることを目的としています。

本年度研修会では、日本公認会計士協会の学校法人委員会から講師をお迎えし、学校法人会計基準の一部改正後初めての決算を振り返っての留意点、および預り金処理の留意点を中心に「学校法人会計の適正な処理と決算の留意点」というテーマでご講演いただきます。

また、ディスカッションでは参加者アンケートを基に情報交換を行い、日常業務の疑問点の解消を目指します。

(研修方法) 午前の部は、講師から講演形式により、学校法人会計基準の一部改正、預り金処理を中心に会計基準の諸課題、会計処理及び決算上の留意点について解説を行うとともに、参加者アンケートの中から質問事項の回答を行います。

午後の部は少人数のグループで、現行の学校法人会計基準内での、決算処理等の会計処理上の諸問題や日常業務の疑問点を中心に、参加者アンケートを基に情報交換を行います。

(対象者) 経理業務に精通している部課長並びに、それに準ずる方。(実務者を対象とします。)

(班編成) 午前の部は、参加者全員によるスクール形式で行い、午後の部は、少人数のグループ編成で、ロの字形式で行います。

(事前お願い) 研修会参加申込の際に「参加者アンケート」の作成をお願いします。

(講師) 日本公認会計士協会 学校法人委員会関係者

(運営委員)
 徳田 守 副委員長 (金沢工業大学 常任理事・財務部長)
 小谷野 理 委員 (大妻女子大学 財務センター財務グループ課長)
 齋藤 佳之 委員 (東京電機大学 経理部長)
 加藤 友和 委員 (中部学院大学 学院本部財務部長)
 本西 亜弥 委員 (近畿大学 財務部経理課長)

(研修日程) 研修会第 3 日目

10月7日(金)	研修概要
9:00 (5分) }	【全体研修：スクール形式】 会場：共通 ○ 午前の部開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等 (司会：本西亜弥 委員)
9:05 (60分) }	1 解説「学校法人会計基準の現状と決算の留意点」 ～学校法人会計基準一部改正および預り金処理の留意点を中心に、最近の会計関係法規、通知および委員会報告等を解説します。～
10:05 休憩(10分)	講師：日本公認会計士協会 学校法人委員会関係者
10:15 (80分) }	
11:35 (20分) }	－質疑応答－ 解説及び参加者アンケートで提出された講師への質問について回答していただきます。
11:55 (5分)	○ 午前の部閉会：午後の確認等
12:00 (60分)	○ 会場移動：午前の部終了後、移動をお願いします。
13:00	◎ 昼 食：午後の各グループ別会場にお弁当を準備します。
13:00 (50分) }	【グループ研修：ロの字形式】 会場：分割 一少人数グループ編成一 ○ 午後の部開会 (司会：各グループの担当委員)
13:50 休憩(10分)	2 ディスカッション
14:00 (50分) }	
14:50 (10分)	○ 研修会閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い * 「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。
15:00	

研修会終了 ※お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

B 班	経常費補助金・会計検査院検査関係課題	実務対応型課題
-----	--------------------	---------

(趣旨・目的) この班は、事業団の方に「会計検査院の実地検査の状況」、「不当事項等まではいかなかったが、過去において会計検査院検査や事業団の事前調査で問題となった事例を中心に、より現場の話に直結した内容」での解説を行っていただきます。

事前にご提出いただく『参加者アンケート』で講師への質問や解説希望事項により、質疑応答およびディスカッションを行います。また、『参加者アンケート』に寄せられた「参加者間で討議したい事項・内容」や「他大学の取組状況」等についてディスカッションを行うことで補助金等に関する理解を深め、関係事務の適正化を図ることを目的としています。

(研修方法) 午前の部より、グループディスカッション形式の座席配置にて研修を行います。内容は事業団担当者による課題解説の後、『参加者アンケート』による質問事項の解説および事業団の方も交えてのディスカッションを行います。

午後の部は、参加者のみで『参加者アンケート』にて提出された参加者間で討議したい事項を中心に経常費補助・文科省等直接補助・科研費等の日頃の実務に関して意見交換を行います。

(対象者) 補助金業務の担当者に留まらず広く補助金や検査院検査に関する知識を必要とする方。

(事前お願い) 参加者には、『参加者アンケート』の協力をお願いします。

なお、講師の方への個別相談・名刺交換等については、研修日程の時間の都合上、午前の部の研修時間内にてお願いします。

(講師) 日本私立学校振興・共済事業団 助成部

補助金課長 きく ち ひろ あき 菊池裕明氏

補助金課長補佐 みや た なお き 宮田直樹氏

(運営委員) 佐川秀夫 委員長 (文化学園大学 顧問)

松下良春 委員 (北海学園大学 法人経理部長)

岡畑満孝 委員 (中部大学 法人本部財務部長)

大江俊司 委員 (大手前大学 総合企画部次長)

(研修日程) 研修会第3日目

10月7日(金)	研修概要
9:00 (5分)	○ 午前の部開会：趣旨・目的説明、スケジュール、委員紹介、講師紹介等 司会：岡畑満孝 委員 (中部大学 法人本部財務部長)
9:05 (90分)	1 解説「会計検査院の実地検査状況について」 講師：日本私立学校振興・共済事業団 助成部 補助金課長 菊池裕明氏
10:35 (20分)	○ 休憩
10:55 (60分)	2 「参加者アンケート」による質問事項に対する解説およびディスカッション 参加者からの質疑・講師からの補足説明 講師：日本私立学校振興・共済事業団 助成部 補助金課長 菊池裕明氏 日本私立学校振興・共済事業団 助成部 補助金課長補佐 宮田直樹氏
11:55 (5分)	○ 午前の部閉会：午後の部確認等
12:00 (60分)	◎ 昼食：お弁当を準備します。
13:00	○ 午後の部開会
途中 適宜 休憩	3 参加者ディスカッション * 『参加者アンケート』で寄せられたテーマをもとに、経常費補助金や会計検査院検査に関すること等、業務上発生した“質問”や“他大学の取組事例照会”等をディスカッションします。
14:50 (10分)	○ 研修会閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い * 「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。
15:00	

研修会終了 ※お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

C 班	収入増加方策・支出効率化方策課題	政策討議型課題
-----	------------------	---------

(趣旨・目的) 今回は、運営委員による支出効率化方策に関連した事例発表の後、参加者から提出された「事前アンケート」中心のグループによるディスカッションや資料交換を行い、収入増加方策・支出効率化方策課題についての認識と理解を深めて自校で積極的に提言・活用されることを目的とします。

(研修方法) 「取組事例」発表・質疑応答等による研修（受講形式）、その後、参加者間の「ディスカッション」による研修（ワークショップ形式）を実施します。

(対象者) 学校運営にかかる収支改善の課題を強く感じている方。
積極的なディスカッション（資料交換を含む）ができる方。

(班編成) 規模別等のグループを5テーブル編成します。

(運営委員) 中島和彦 副委員長（多摩美術大学 総務部長）
小柳敦 委員（東北福祉大学 財務課長）
瀬田高央 委員（神奈川大学 財務部長）
大田欣久 委員（大阪商業大学 法人本部財務課長）

(事前お願い) C班参加者の皆様は、「事前アンケート」の作成（入力）をお願いします。

(研修日程) 研修会第3日目

*発表者
*司会者
*発表者

10月7日(金)	研修概要
9:00 (5分)	○ 午前の部開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等（司会：小柳 敦 委員）
9:05 (45分)	1 「たまび流」収入増加・支出削減方策 発表者：中島和彦 副委員長（多摩美術大学 総務部長） (1) はじめに・・・多摩美のプロフィール (2) たまびの収支構成、財務比率 (3) たまびの管理経費内訳 (4) たまび流財務の効率化 (5) 計算書類に現れない経費削減 (6) 収入増加のための改善課題 (7) 支出削減を目指す値引きの交渉ポイント －質疑応答－
9:50 (10分)	○ 休憩
10:00 (45分)	2 事前アンケートを踏まえた事例等について 発表者：瀬田高央 委員（神奈川大学 財務部長） －質疑応答－
10:45 (10分)	○ 休憩
10:55 (60分)	3 参加者間の「ディスカッション」による研修（収入増加方策・支出効率化方策） 午前の「発表」および「事前アンケート」等で提出された ①参加者間での「意見交換希望事項」、②各大学の取組状況等への「照会事項」を中心に 意見・情報交換（資料交換を含む）を行います。 －質疑応答－
11:55 (5分)	○ 午前の部閉会：午後の確認等
12:00 (60分)	◎ 昼食：お弁当を準備します。
13:00 (50分)	○ 午後の部開会：（司会：小柳 敦 委員）
13:50 －休憩－ (10分)	4 午前に引き続き、参加者間の「ディスカッション」による研修
14:00 (50分)	
14:50 (10分)	○ 研修会閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い *「研修会についてのアンケート用紙」を記入し、運営委員に提出してください。
15:00	

研修会終了 ※お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

D 班	私立大学財政・経営の充実と強化	政策討議型課題
-----	-----------------	---------

(趣旨・目的) 私立大学を取り巻く環境は大きく変化しており、またそれに対する迅速な対応が求められています。私立大学が存続していくためには、今一度建学の精神に基づき教育と研究の充実を図ること、そして将来の計画を具体化し、経営と財政基盤の安定を確実なものにしていくことが重要です。

財政を担当するスタッフとして財務分析を活用して財務状況を的確に判断し、自学の状態を提供できる「ものさし」となる財務諸表を使った分析についての理解を深め、少しでも高めることを目的としています。

本研修は、日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センターの講師による解説で、財務を支える職員として「財務比率の分析力」を高め、日々業務の中で現状を把握するために活かしていけるようにすること。経営の安定と財政基盤の充実に向けての取り組みの事例を紹介してもらいます。

参加各校と情報の共有と充実策を考え、各大学が抱え持つ課題の参考になればと考えています。

(研修方法) 午前中は、日本私立学校振興・共済事業団の私学経営情報センターから講師を招き、財務分析を含む財務状況の把握に必要な手法及び私立大学の経営を取り巻く現状と今後の課題の解説を行っていただきます。

午後は、ワークショップ形式での参加者間の「ディスカッション」による研修を実施する予定にしています。

(対象者) 学校法人の運営に関わる方を対象に、問題意識をもち、その改善策に取り組む意欲がある方で、積極的に意見交換、情報交換等に参加できる方。

(班編成) 午前の部はスクール形式、午後の部はグループを編成して行います。

(事前お願い) 研修会申込入力の際に、「事前アンケート」の作成をお願いします。

(講師) 日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター経営支援室主幹 **瀬戸浩徳** 氏
日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター私学情報室主幹 **高野陽子** 氏

(運営委員) 近藤 伊佐夫 委員 (明星大学 常任理事)
余語 弘 委員 (名城大学 経営本部財政部事務部長)
川合 直貴 委員 (大阪芸術大学 法人本部経理部長)
中川 幸広 委員 (純真学園大学 法人事務局法人本部長)

(研修日程) 研修会第3日目

10月7日(金)	研修概要
9:00 (5分)	【全体研修】 ○ 午前の部開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等 (司会：川合直貴 委員)
9:05 (75分)	1 財務諸表を使った財務分析について 講師：日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 経営支援室 主幹 瀬戸浩徳 氏
10:20 (15分)	○ 休憩
10:35 (80分)	2 私立大学の経営を取り巻く現状と今後の課題について 講師：日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 私学情報室 主幹 高野陽子 氏
11:55 (5分)	○ 午前の部閉会：午後の確認等
12:00 (60分)	◎ 昼 食：お弁当を準備します。
13:00	【グループ研修：ワークショップ形式】ーグループ編成ー ○ 午後の部開会 (司会：川合直貴 委員)
一休憩一 (10分)	3 事前アンケートの集計結果報告
14:50 (10分)	4 参加者間の「ディスカッション」による研修 午前の「解説」および「事前アンケート」の設問項目を中心に参加者間での意見・情報交換を行います。
15:00	○ 研修会閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い * 「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。

研修会終了 ※お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

E 班	学校法人の財政運営課題	政策討議型課題
-----	-------------	---------

(趣旨・目的) 学校法人を取り巻く環境は大きく変化しており、最近では、長期的な展望の下に、課題解決を迫られる問題が増えています。また、少子化傾向の下で、学校法人の経営が将来不安定化する可能性も出てきているところです。

E 班では、長期ヴィジョンの下での、中長期経営（含む財政）計画の立案と改善手法について検討したいと考えています。また、「実質（時価）ベースでの保有資産価値の試算」等を切り口として、多種多様な諸課題を、それぞれの学校法人でどう取り組み、解決しているのかを研究しようというのがこの班での研修の趣旨です。この班では、参加者の一人一人が質問者であり、講師であるとの考え方です。「事前アンケート」から抽出された各法人固有のあるいは共通のテーマ、質問事項を中心に運営委員と参加者間相互による情報交換等を行います。

(研修方法) ワークショップ形式による研修スタイルの事例研究研修とディスカッション研修を行います。

(対象者) 学校法人の運営全般に問題意識をもち、積極的に討議・意見交換・情報交換・資料交換等に参加できる方。

(事前お願い) 参加者には、「事前アンケート」のご協力をお願いします。

(運営委員) 西 畑 一 哉 委員（二松学舎大学 常任理事、企画・財務部長） *発表者
 相 原 安 夫 委員（武蔵野音楽大学 評議員・名誉教授）
 衣 松 美 隆 委員（広島経済大学 法人部長）
 山 口 久吉郎 委員（徳島文理大学 経理部副部長）
 木 谷 義 勝 委員（熊本学園大学 総務部経理課長）

(研修日程) 研修会第3日目

10月7日(金)	研修概要
9:00 (5分)	○ 午前の部開会：趣旨説明、研修目標、運営方法等（司会：衣松美隆 委員）
9:05 (60分)	1 「今後の中長期計画の在り方～中長期計画 2.0～」 中長期計画の企画・立案と「本当の使い方」 中長期計画のマネジメントへの応用方法 発表者：西畑一哉 委員（二松学舎大学 常任理事、企画・財務部長）
}	2 説明についての質疑応答
}	
10:05 (15分)	○ 休憩
10:20	3 「学校法人経営問題顕現化への対応」 保有資産の時価推計手法の紹介と経営問題顕現化への対処方法 米国における学校法人破綻処理 事前アンケートで寄せられた質問事項等についてのディスカッション 発表者：西畑一哉 委員（二松学舎大学 常任理事、企画・財務部長）
}	
11:55 (5分)	○ 午前の部閉会：午後の確認等
12:00 (60分)	◎ 昼食：お弁当を準備します。
13:00	○ 午後の部開会（司会：衣松美隆 委員）
}	
}	4 参加者ディスカッション 事前アンケートで寄せられた質問事項等についてのディスカッション
-休憩-	
(10分)	
14:50 (10分)	○ 研修会閉会：まとめ、「研修会についてのアンケート」記入等のお願い * 「研修会についてのアンケート用紙」に感想を記入し、運営委員に提出してください。
15:00	

研修会終了 ※お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。